

素材インフレとデフレ

今、鉄を始めとして多岐に渡り、素材関係の値上がりが続いています。それは、弊社で取り扱っている鉄スクラップにおいても例外ではありません。その原因は中国です。またかと思われ方も多いと思いますが、今、中国は世界の工場としてありとあらゆる素材を必要としており、多少の波はあるにしても、当面上昇トレンドだと思われれます。一説には、7%の経済成長がないと、新規就労人口を吸収しきれないそうです。北京五輪、上海万博とインフラ整備需要は目白押しです。一方通常では、素材が上がればそれに対応して製品価格も上昇するのですが、現実には、デフレは収まっています。つまり、製造メーカーの収益を圧迫している状況です。このままの状態が長引けば、景気回復も難しくなってきました。しかし、最終製品の値上げは、販売の落ち込みを懸念する声もあり難しく、デフレ脱出の要因とはならない様です。

一方で、中国では、複数素材の混成品(大半の物がそうですね)を大量に輸入しており、全て手解体されており、その基本要因は、人件費の安さ



国際環境規格 ISO14001

長沼商事株式会社
埼玉県所沢市林 1-306-7

ん進めています。我々日本人から見るとゴミでも中国ではまさしく宝の山なのです。

廃棄物処理法改正へ

今年の1月、中央環境審議会から意見申が提出されました。大規模な不法投棄事案への国の役割の強化。不法投棄等の未然防止、優良業者の育成、処理施設の確保等と多岐に渡っています。今回の法改正では、処理施設を巡る問題の解決と罰則の強化が上がっています。昨年に比べて特定事案に特化した様な形での改正で小幅な改正に留まっています。優良業者の育成が見送られた事は残念な所ですが、透明度の高いシステムになる事を期待したい所です。

新入社員

日本社会は、この数年凄まじいリスロフを進めてきました。それでも倒産や、吸収合併など会社を維持できないケースを多数見てきました。その中で会社が生き残る為には、その戦士たる社員が競合他社との熾烈な戦いを勝ち抜いて行かなくてはならないのです。明治維新の時の日本の人口は約3千万人程度だったそうです。それがこの百年で4倍にも増えたのです。それが今や人口の増加は停滞し、高齢化へと向かっています。今やよほど競争力を持たないと勝ち残れない時代へと

進んできたのです。一方で学校教育においては、競争を抑制する方向に進んでいます。本来、学校教育とは、社会に適応していく能力を身に付け、自己を確立していく場ではなかったでしょうか？かけっこの早いやつ、絵のうまいやつなどそれぞれ得意なもの(人より勝る物)を見つけ、自身を深めていく場ではなかったのでしょうか？それが今や、みんなが「よく出来ました」では、自信も付かないし、成長も望めません。今の新入社員にしてもそんな「なかよし生活」から急にリアルなサバイバルを求められても対応できないのは無理もない事です。結果として就職してもすぐに辞めたり、引きこもったりと社会に適応出来ない人が増えていくそうです。今、企業は社会人としての「しつけ」からしなくてはなりません。しかし、彼らは社会のルールが分からないだけで能力が無い訳ではないのです。透明性のある中で、仕事の中に自分の居場所や役どころを見つけ、成長していける、そんな企業が求められ、また成長していける、そんな時代なのかもしれません。がんばれ新入社員！